

## 和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会の実施について(報告)

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会規程第3条第1項の規定に基づき、令和元年度第2回和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会を実施しましたので、以下のとおり報告します。

1. 開催日時 令和2年2月25日(火) 15時～17時
2. 場 所 和歌山県立医科大学 図書館棟3階 研修室
3. 出席委員 委員長 山口 悦子(大阪市立大学)  
副委員長 中川 利彦(パークアベニュー法律事務所)  
委員 石井 浩子(NPO法人いきいき和歌山がんサポート)
4. 院内出席者 病院長・管理者 山上 裕機  
医療安全管理責任者・副院長 中尾 直之  
医療安全推進部長 水本 一弘  
医薬品安全管理責任者・薬剤部長 岩城 久弥  
医療機器安全管理責任者・臨床工学センター長 重松 隆  
臨床工学センター工学技士長 中村 一貴  
事務局次長(病院担当) 松尾 孝志  
薬剤部主幹 西川 浩子
5. 議事次第 (1) 臨床倫理コンサルテーションチームについて  
(2) 薬剤管理(当委員会で指摘のあった事項への対応状況等)について
6. 監査結果  
(1) 臨床倫理コンサルテーションチームについて
  - ・ 病院機能評価で指摘されてからすぐに新しいシステムを構築されており、すばやい対応がまず評価できる。また、チームには医療の専門家以外も入っており、医学以外の視点で検討ができるという点が非常に評価できる。
  - ・ 既に7つの事例があり、単に制度を作ったというだけではなく、実際に生かされていることが実感できた。医療者だけではなく、患者さんからの相談も医療安全推進部で受け、チームに検討を依頼するシステムができており、検討結果を患者さんに返すことができる仕組みになっているという意味でも非常に評価できる。
  - ・ 臨床倫理委員会へは、半年に一回か4ヶ月に一回など、報告を上げて、臨床倫理委員会でも検討することも運用の面では考えていただくことになるかと思う。
  - ・ 相談内容が多岐にわたる中、多くのメンバーの知識を出して、タイムリーに検討されているということが素晴らしい取組だと思った。
  - ・ まだ発足したところなので、どのように報告されるかは未定のようなのだが、きちんと

院内に周知されることを期待している。

- ・ シンプルなシステム、フロー、窓口の一本化といった無駄のない分かりやすい体系は現場に優しく、患者さんや家族だけではなく、職員が本当に困っている時に声を上げられる文化が創られている。
- ・ 医療安全推進部と患者支援センターを同じフロアにしたアイデアも素晴らしいし、そうしようと思った経営陣も素晴らしい。
- ・ 依頼用紙をインターネットのメールでやり取りするのは心配であるので、他の方法がないか検討していただきたい。

(2) 薬剤管理（当委員会で指摘のあった事項への対応状況等）について

- ・ 現場に行かせていただいて、定数配置薬が少ないことに感動し、薬剤師さんがきちんと管理されていて、素晴らしい仕組みを構築されていると感じた。
- ・ 院長や薬剤部長の強いリーダーシップが素晴らしいと思った。今後もよりいっそうリーダーシップを発揮していただいて、医療の質・安全の向上のために、無駄は安全の敵をモットーにPDCAを回していただきたい。
- ・ 定数配置薬マニュアル等について、管理の定着の確認手順を構築していただきたい。

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会  
委員長 山口悦子